

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2000-24258 (P2000-24258A)
 【公開日】平成 12 年 1 月 25 日 (2000.1.25)
 【出願番号】特願 平 10-210345
 【国際特許分類第 7 版】
 A 6 3 F 7/02
 【F I】
 A 6 3 F 7/02 3 2 6 E

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 7 月 1 日 (2005.7.1)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

機構板が前面枠裏面側にヒンジ具を介して回動自在に装着されるパチンコ機において、
前記ヒンジ具を、軸受板を有すると共に該軸受板に軸孔を穿設したヒンジ部材と軸受板を有すると共に該軸受板に前記軸孔の深さより長めの軸ピンを設けたヒンジ部材とにより構成し、

前記軸孔を穿設したヒンジ部材に該軸孔に連通しかつ前記機構板を開放した状態のとき前記軸孔から突出した前記軸ピンの先端部が支持される軸支持部を形成したことを特徴とするパチンコ機。

【請求項 2】

機構板が前面枠裏面側にヒンジ具を介して回動自在に装着されるパチンコ機において、
前記ヒンジ具を、軸受板を有すると共に該軸受板に軸孔を穿設したヒンジ部材と軸受板を有すると共に該軸受板に前記軸孔に嵌挿する軸ピンを設けたヒンジ部材とにより構成し

、
前記前面枠側のヒンジ部材に前記機構板を開放したとき該機構板側のヒンジ部材の軸受板が挟持される鉤型の挟持部を設けたことを特徴とするパチンコ機。

【請求項 3】

機構板が前面枠裏面側にヒンジ具を介して回動自在に装着されるパチンコ機において、
前記ヒンジ具を、軸受板を有すると共に該軸受板に軸孔を穿設したヒンジ部材と軸受板を有すると共に該軸受板に前記軸孔に嵌挿する軸ピンを設けたヒンジ部材とにより構成し

、
前記前面枠側のヒンジ部材の軸受板下部に前記機構板を開放したとき該機構板の側面が当接する支持部を設けたことを特徴とするパチンコ機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 8】

しかして前記ヒンジ具 6 は、図 3 に示すように軸孔 1 8 を有するヒンジ部材 1 9 と軸ピン 2 0 を有するヒンジ部材 2 1 とで構成される。該ヒンジ部材 1 9 , 2 1 は取付台板 2 2

と該取付台板 2 2 から垂設した軸受板 2 3 とからなり、ヒンジ部材 1 9 の軸受板 2 3 に軸孔 1 8 が穿設され、他方のヒンジ部材 2 1 の軸受板 2 3 に軸ピン 2 0 が設けられている。またヒンジ部材 1 9 は、軸受板 2 3 をヒンジ部材 2 1 の軸ピン 2 0 とほぼ等しい肉厚とし、該軸受板 2 3 下面に補強用のリブ壁 2 4 を設けている。ヒンジ部材 1 9 は取付台板 2 2 に設けたビス孔 2 5 , 2 5 を介して遊技盤取付枠 3 の一側上下にビス着 2 6 , 2 6 され、ヒンジ部材 2 1 は取付台板 2 2 に設けたビス孔 2 5 , 2 5 を介して前記ヒンジ部材 1 9 の取付け位置に合致して機構板 5 の一側上下にビス着 2 6 , 2 6 される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

図 5 および図 6 に示すように、ヒンジ部材 2 1 は図 5 に示すように軸ピン 2 0 を前記実施の形態よりも長めに形成し、ヒンジ部材 1 9 A は軸孔 1 8 に連通する軸支持部 2 7 を取付台板 2 2 に形成し、図 6 に示すように機構板 5 を開放した状態のとき軸孔 1 8 から突出した軸ピン 2 0 の先端部が軸支持部 2 7 により支持されて機構板 5 の傾動をより確実に防止する。なお、軸支持部 2 7 は、前記リブ壁 2 4 を利用するようにしてもよい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

図 7 ないし図 1 0 はヒンジ部材のさらに他の実施の形態を示すもので、ヒンジ部材 1 9 B は軸受板 2 3 の取付台板 2 2 寄り上面に鉤型の挟持部 2 8 を設けており、図 8 実線に示す機構板 5 を閉じた状態から図 8 鎖線に示す機構板 5 を開放したとき、図 9 に示すようにヒンジ部材 2 1 の軸受板 2 3 先端が挟持部 2 8 に嵌まり込むようになっており、軸ピン 2 0 に掛かる負担を軽減して機構板 5 の傾動を防止するようにしている。なお、図 1 0 に示すように挟持部 2 8 を設けたヒンジ部材 2 1 A を遊技盤取付枠 3 に取付けて、機構板 5 のヒンジ部材 1 9 の軸受板 2 3 先端が挟持部 2 8 に嵌まり込むようにしてもよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図面の簡単な説明】

【図 1】

パチンコ機の裏面図。

【図 2】

機構板を開放した状態のパチンコ機の斜視図。

【図 3】

機構板を取り外した状態の要部斜視図。

【図 4】

ヒンジ具の要部断面図。

【図 5】

ヒンジ部材の斜視図。

【図 6】

ヒンジ具の要部断面図。

【図 7】

他の実施の形態のヒンジ部材の斜視図。

【図 8】

他の実施の形態のヒンジ具の要部平面図。

【図 9】

他の実施の形態のヒンジ具の要部断面図。

【図 10】

他の実施の形態のヒンジ部材の斜視図。

【図 11】

他の実施の形態のヒンジ部材の斜視図。

【図 12】

他の実施の形態のヒンジ具の要部断面図。

【符号の説明】

2	前面枠
3	遊技盤取付枠
4	遊技盤
5	機構板
16	固定具
18	軸孔
19, 19A, 19B, 19C	ヒンジ部材
20	軸ピン
21, 21A	ヒンジ部材
22	取付台板
23	軸受板
27	軸支持部
28	挟持部
29	支持部